

# 2024年度 第3四半期 決算説明資料

2025年1月31日

株式会社 **モリタホールディングス**

(証券コード : 6455)

# I. 会社概要

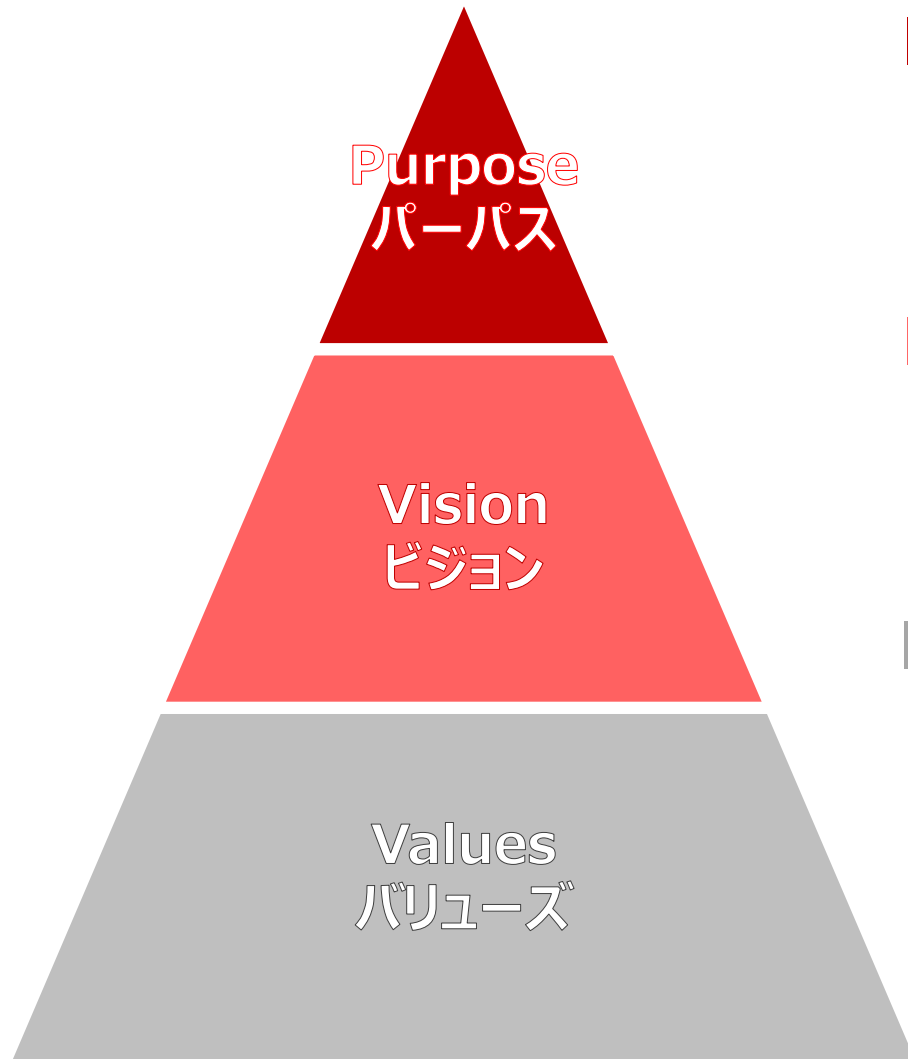
---

- 社 名 : 株式会社モリタホールディングス  
(英文名称 : MORITA HOLDINGS CORPORATION)
- 創 業 : 1907 (明治40) 年4月23日
- 設 立 : 1932 (昭和07) 年7月23日
- 代 表 者 : 代表取締役会長兼CEO 中島 正博  
代表取締役 社長執行役員 金岡 真一
- 資 本 金 : 47億4,612万円
- 連 結 売 上 高 : 952億円 [2024年3月期]
- 連 結 従 業 員 数 : 1,723名 [2024年3月31日現在]
- 連 結 子 会 社 : 13社
- 持 分 法 適 用 会 社 : 2社
- その他グループ会社 : 5社

# 事業概要



セグメント	消防車両事業	防災事業	産業機械事業	環境車両事業
営業品目	 	 	 	 
	消防車両 消防車両メンテナンス	消火器 消火設備	産業廃棄物処理機 リサイクルプラント 各種ごみ処理施設	衛生車 塵芥車 環境保全車両
主要事業会社	モリタ モリタテクノス Bronto Skylift	モリタ宮田工業	モリタ環境テック	モリタエコノス
売上高	544億円 (57%)	238億円 (25%)	62億円 (6%)	109億円 (11%)
営業利益	47.2億円 (50%)	32.7億円 (35%)	7.2億円 (8%)	7.5億円 (8%)



- パーパス（社会における存在理由）  
「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で  
人と地球のいのちを守る
- ビジョン（実現したい社会とありたい姿）  
安全で住みよい豊かな社会へ貢献し  
感謝され、愛される企業
- バリューズ（大切にすべき価値観）  
お客様と社会からの信頼  
真摯な企業経営  
挑戦と成長  
飽くなき革新力  
多様性の尊重  
自然、社会との共生

分類	マテリアリティ	関連するSDGs
事業活動に関するマテリアリティ	① 気候変動問題への取組み	
	② 循環型社会への貢献	
	③ 安全で安心な社会への貢献	
	④ 絶えざる技術革新による環境価値の創出	
	⑤ 製品の品質と安全性の追求	
事業基盤に関するマテリアリティ	⑥ 実効性のあるコーポレートガバナンスの実践	
	⑦ 革新力を持った人財の育成	

## Ⅱ. 2024年度 第3四半期 決算概要

---

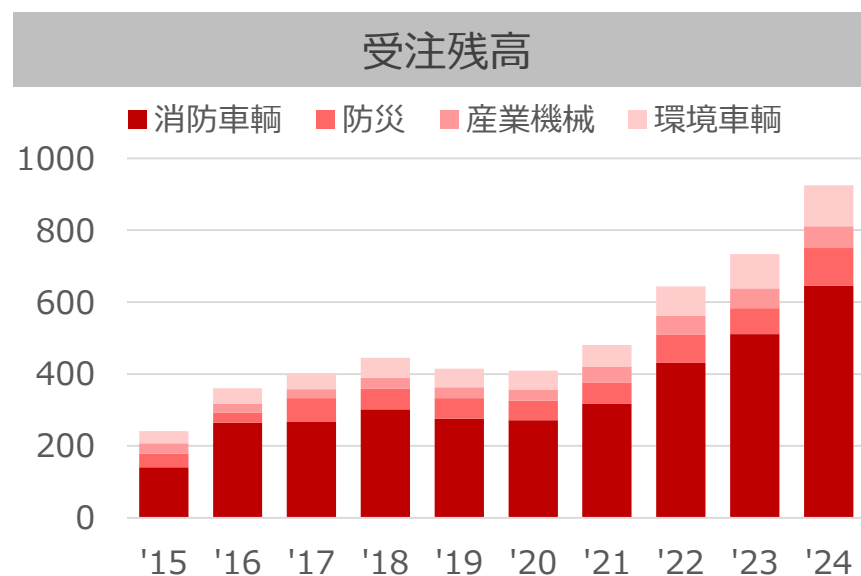
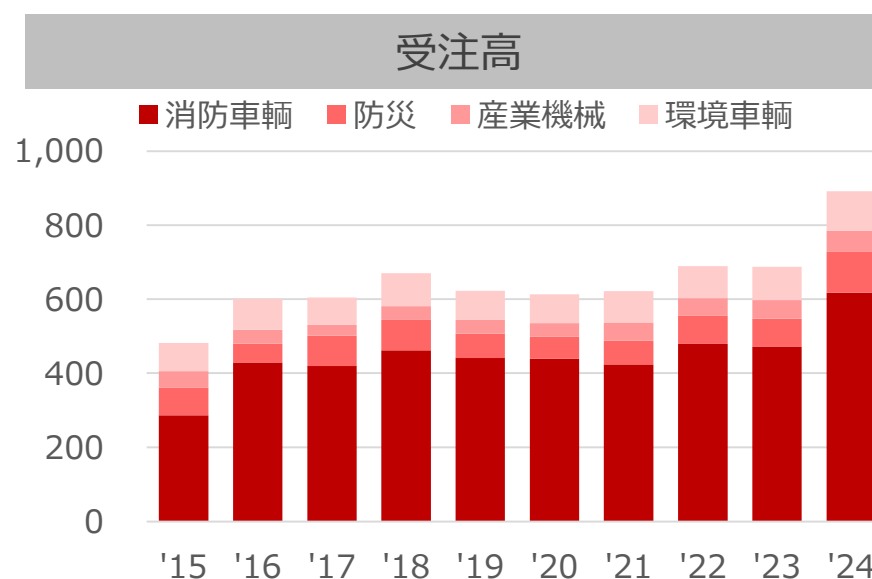
# 受注状況



(億円)

受注高	2022Q3 実績	2023Q3 実績	2024Q3 実績	前期比
消防車輛	479	472	617	+145
防災	77	75	112	+37
産業機械	46	50	56	+6
環境車輛	86	90	106	+16
<b>連結</b>	<b>689</b>	<b>687</b>	<b>892</b>	<b>+204</b>

受注残高	2022Q3 実績	2023Q3 実績	2024Q3 実績	前期比
消防車輛	430	511	645	+135
防災	80	72	105	+33
産業機械	52	55	60	+6
環境車輛	81	96	114	+18
<b>連結</b>	<b>643</b>	<b>734</b>	<b>925</b>	<b>+191</b>





# 損益計算書



(億円)

	2022Q3 実績	2023Q3 実績	2024Q3 実績	前期比
<b>売上高</b>	<b>438</b>	<b>547</b>	<b>655</b>	<b>+108</b>
消防車輛	204	278	359	+82
防災	129	154	170	+17
産業機械	40	44	42	-2
環境車輛	65	72	83	+11
<b>営業利益</b>	<b>9</b>	<b>33</b>	<b>66</b>	<b>+33</b>
消防車輛	-6	8	27	+20
防災	8	16	29	+12
産業機械	5	5	5	-1
環境車輛	3	3	6	+2
<b>経常利益</b>	<b>13</b>	<b>35</b>	<b>69</b>	<b>+34</b>
<b>当期純利益</b>	<b>6</b>	<b>17</b>	<b>43</b>	<b>+26</b>

## 前期比コメント

- ✓ 連結業績は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の各々が3Qとして過去最高を更新。
- ✓ 消防車輛事業は、前期にシャシ供給遅延で苦戦したBrontoが回復基調にあることや、国内売上も堅調に推移したことにより、大幅な増収増益。
- ✓ 防災事業は、工場向け消火設備の進行中の案件が順調に進捗したこともあり、過去最高を更新。
- ✓ 産業機械事業は、受注高、受注残高ともに過去最高となるも3Qは減収減益。
- ✓ 環境車輛事業は、過去最高の受注高、受注残高を背景に堅調に推移。

# 業績予想及び配当予想 (2024.10.31公表)



(億円)

	2023 実績	2024 前回予想	2024 今回予想	前期比	前回 予想比
<b>売上高</b>	<b>952</b>	<b>1,000</b>	<b>1,100</b>	<b>+148</b>	<b>+100</b>
消防車輛	544	578	650	+106	+72
防災	238	250	270	+32	+20
産業機械	62	62	62	+0	+0
環境車輛	109	110	118	+9	+8
<b>営業利益</b>	<b>95</b>	<b>100</b>	<b>120</b>	<b>+25</b>	<b>+20</b>
消防車輛	47	51	60	+13	+9
防災	33	34	44	+11	+10
産業機械	7	7	7	+0	+0
環境車輛	7	8	9	+1	+1
<b>経常利益</b>	<b>96</b>	<b>105</b>	<b>125</b>	<b>+29</b>	<b>+20</b>
<b>当期純利益</b>	<b>60</b>	<b>70</b>	<b>84</b>	<b>+24</b>	<b>+14</b>

## 前回予想比コメント

- ✓ 消防車輛事業の国内受注が堅調に推移するとともに、前期にシャシ供給遅延により低調であったBrontoが回復基調にあること、また、防災事業の消火設備の受注が好調に推移していることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を各々上回る見通し。

(円)

	1株当たり配当金		
	第2 四半期末	期末	合計
前回発表予想	25.00	25.00	<b>50.00</b>
<b>今回修正予想</b>		<b>29.00</b>	<b>54.00</b>
当期実績	25.00		
前期実績	24.00	24.00	<b>48.00</b>

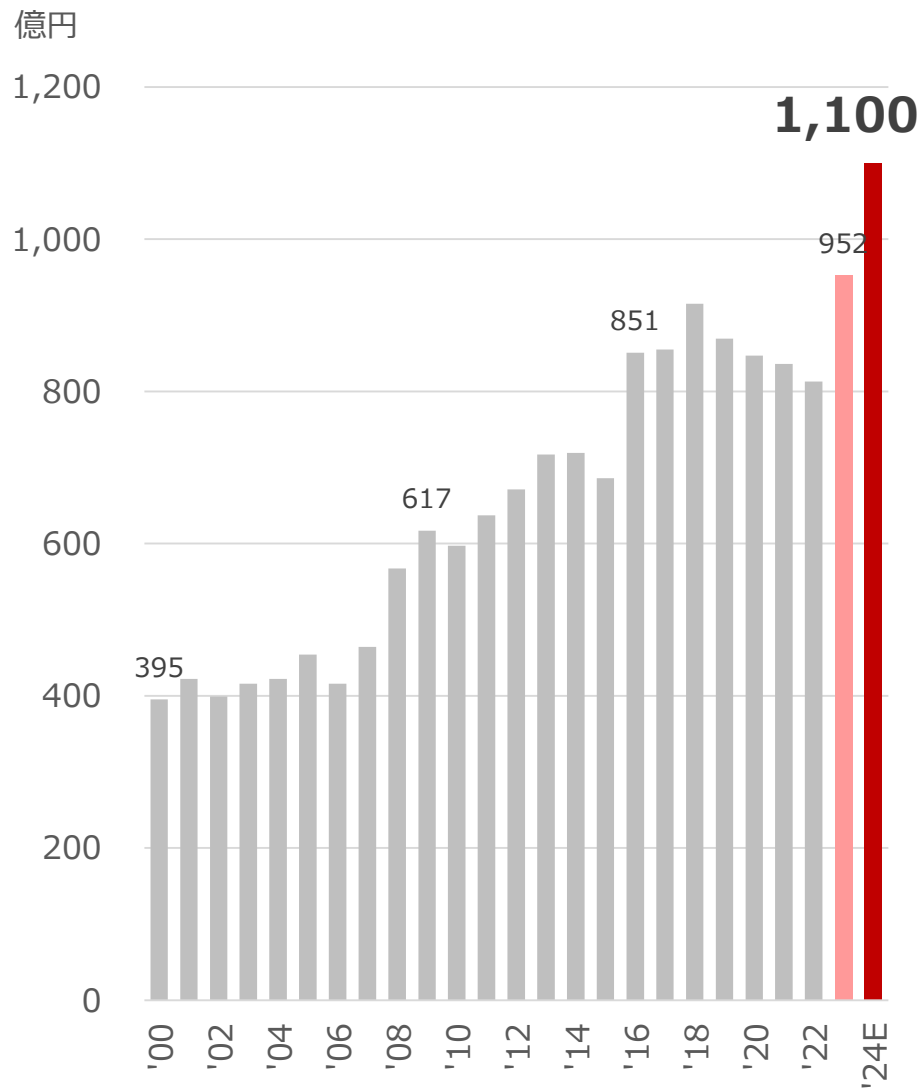
## Ⅲ. 基本戦略

---

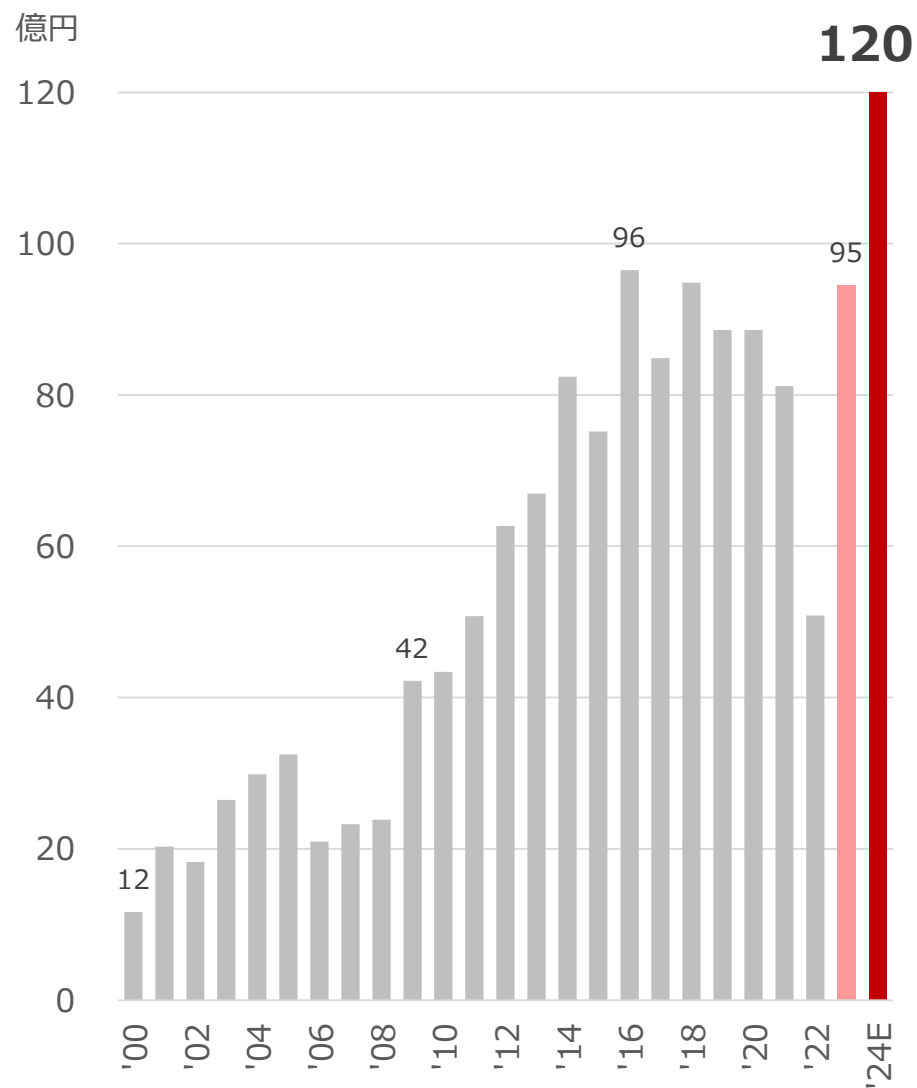
# 業績推移



## 売上高



## 営業利益



# 事業展開の変遷



森田正作  
が創業

1907



環境車両事業  
へ進出

1948



産業機械事業  
へ進出

1994



Bronto Skylift  
を買収

2016



1910

日本初のガソリン・エンジン  
付き消防ポンプを完成



1960

防災事業  
へ進出



2008

宮田工業  
を買収



2022

東京証券取引所  
プライム市場へ移行



# マーケットシェア (2000-2023)



消防車輛  
(消防車)

59%<sup>※</sup>



防災  
(消火器)

36%<sup>※</sup>



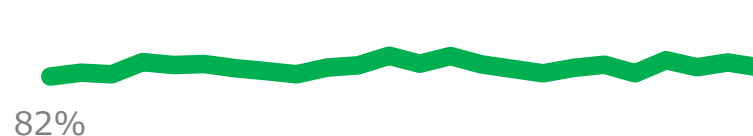
産業機械  
(切断機)

74%<sup>※</sup>



環境車輛  
(衛生車)

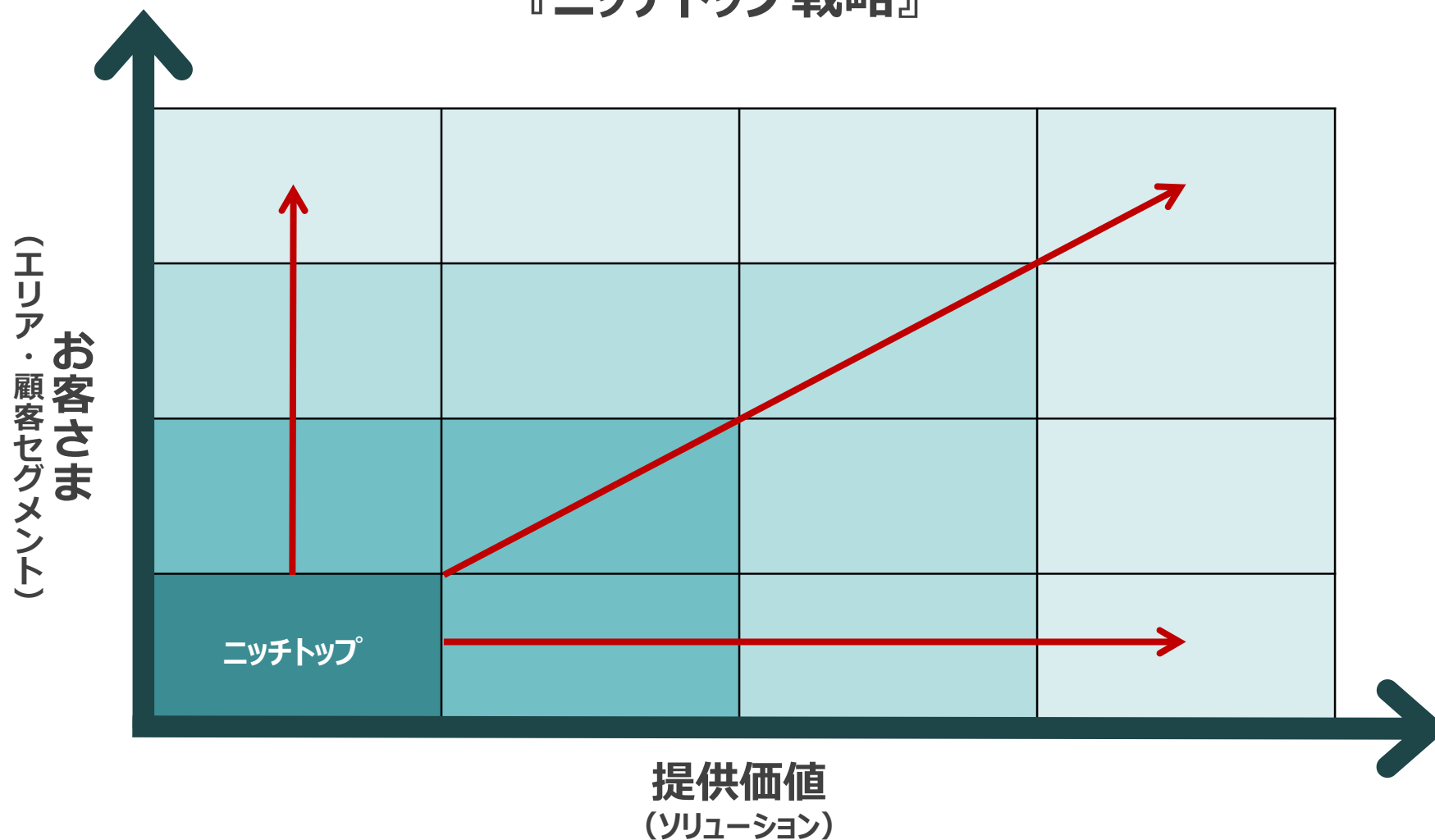
85%<sup>※</sup>



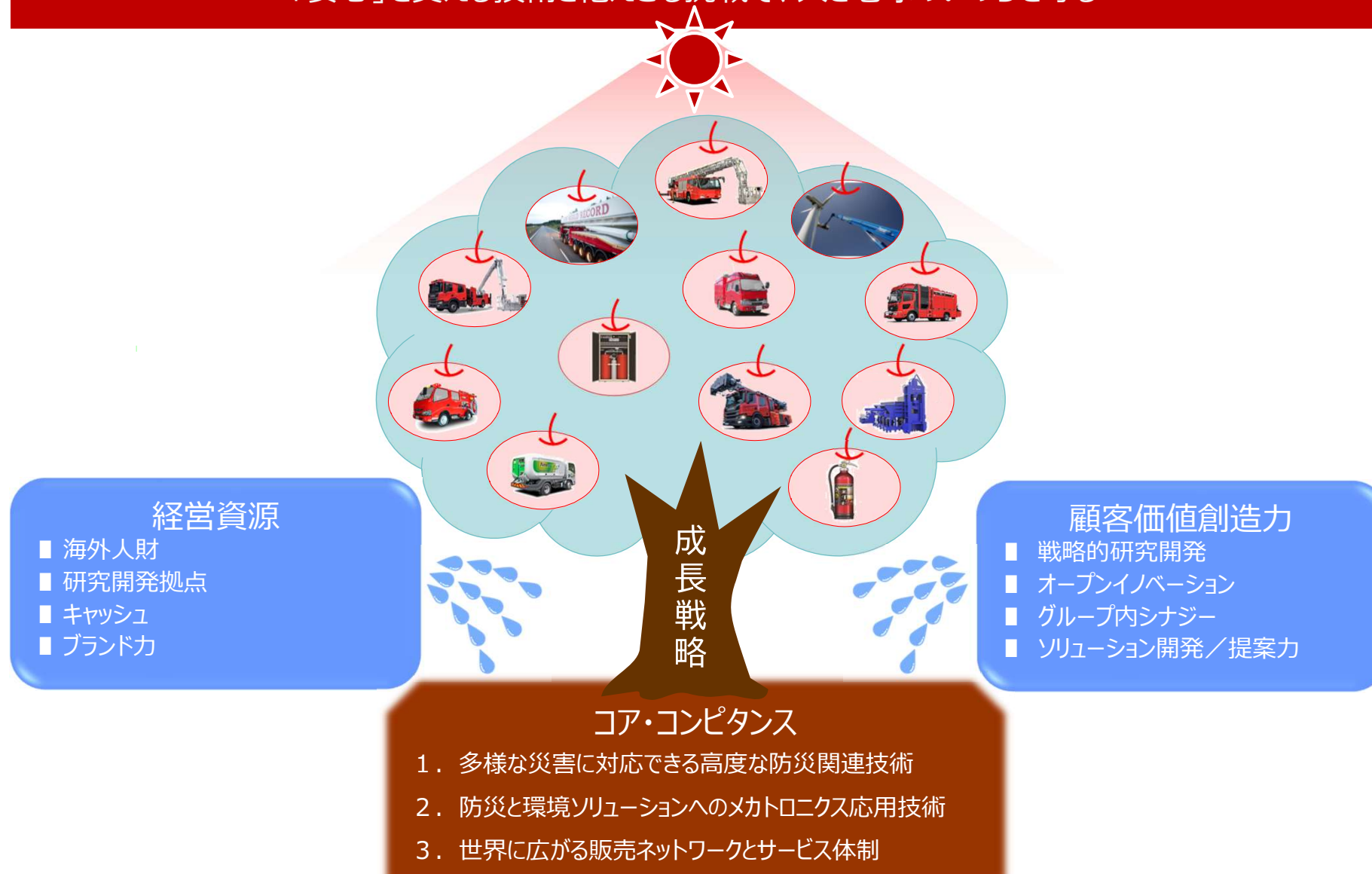
※ 自社調べ

核となるニッチトップを起点に、2つの成長ベクトルでニッチを拡大・開拓する戦略

## 『ニッチトップ戦略』



「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で、人と地球のいのちを守る







## 新研究開発拠点 **モリタATIセンター** Morita Advanced Technology Innovation Center

オープンイノベーションの推進により、世界に変わらない「安心」をお届けし、「安全で住みよい豊かな社会へ貢献し、感謝され、愛される企業」を目指します。

**開発企画室** Development Planning Office

未来の防災デザイン、プロダクトデザイン分野  
Future Disaster Prevention Design and Product Design Field

**Sラボ** Science of Fire Fighting Laboratory

消防防災、環境科学分野  
Fire Prevention and Disaster Management, Environmental Science Field

**Eラボ** Electronics Laboratory

電子/電気機器・情報・通信分野  
Electronics/Electrical Equipment, Information, and Communication Field

**Mラボ** Mechanics Laboratory

機械工学、材料、架装技術  
Mechanical Engineering, Materials, and Fabrication Technology Fields



●日本最大級の総合実験場



●放水通路 (55m)



●構造実験室



●大型恒温槽



高さ33m (11F相当)の  
防災訓練棟

はしご車等による多様な  
消火・救助教育の立案・実証・新製品の開発  
ならびに操作訓練(水および窓放射可能)

- 連結送水管
- 緩降機用フック
- 脱出ハッチ

1F~3F  
(日本家庭機械居室)

- さまざまな屋根形状(仕様)
- 模擬太陽光パネル



●イノベーションホール



●カフェテリア



●電圧試験室



●XRスタジオ



●ドライバーテストスタジオ



●モビリティ研究室

●電子工作室/サテライトオフィス



●燃焼実験



●模擬マンション  
[実火災環境(高温、濃煙)の再現と検証]



●化学実験室



●ポンプ実験室



●燃焼試験室

●機械工作室/研修室 (50名収容)

### DATA

【所在地】  
大阪府八尾市神武町1番43号  
Tel : 072-925-4006

【敷地面積】15,674㎡  
【延床面積】5,121㎡



EN規格対応 先端屈折式はしご付消防自動車  
Loikka Aerial Ladder



Bronto Skyliftと共同開発した、EN規格(EU域内における統一規格)対応のはしご付消防自動車。相互の技術だけではなく販路も活用することで、グローバル展開を更に加速。

EV消防ポンプ自動車  
MoEVIus concept



ゼロエミッション、低騒音・低振動化を実現した、日本初※のEV消防ポンプ自動車。独自開発したePTO（ポンプ駆動システム）とe-Fire Pump（EV専用ポンプ）により、高いエネルギー効率を実現。



EN規格(EU域内における統一規格)に準拠した高性能ポンプユニット。あらゆるEVトラックへの消防ポンプ搭載を可能とし、EV消防ポンプ自動車の普及を推進。

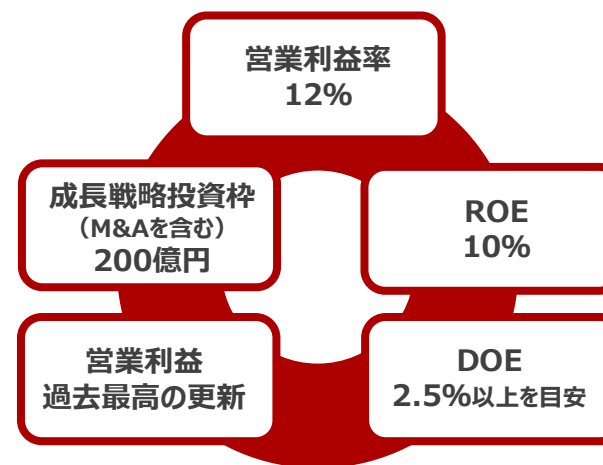
※ 2023年6月 自社調べ

## グローバルな総合防災ソリューション企業へ

### 基本方針

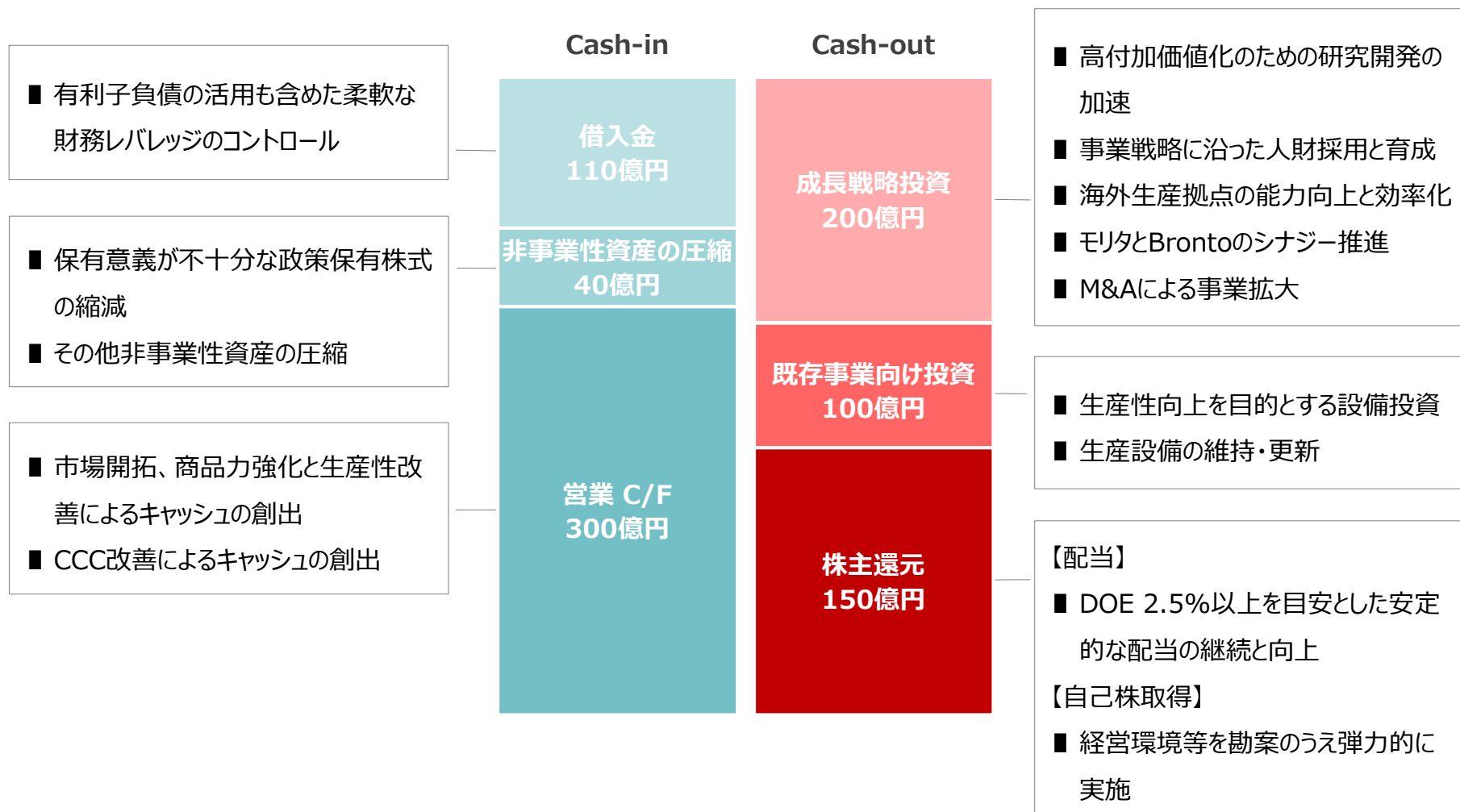
- 1 既存事業の収益力強化
- 2 海外事業・新規事業の育成、拡大
- 3 基礎研究力・新商品開発力の強化
- 4 革新力を持った人財の育成
- 5 CSR活動の推進

### 経営数値目標（2025年度）



Morita Reborn 2025 (2019 – 2025)

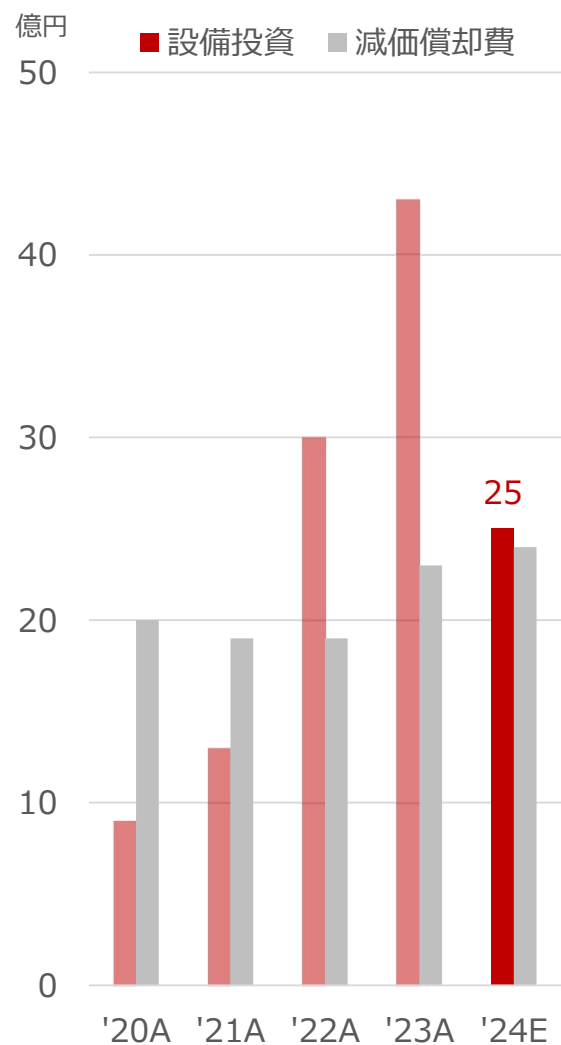
## FY23-25 キャッシュアロケーション



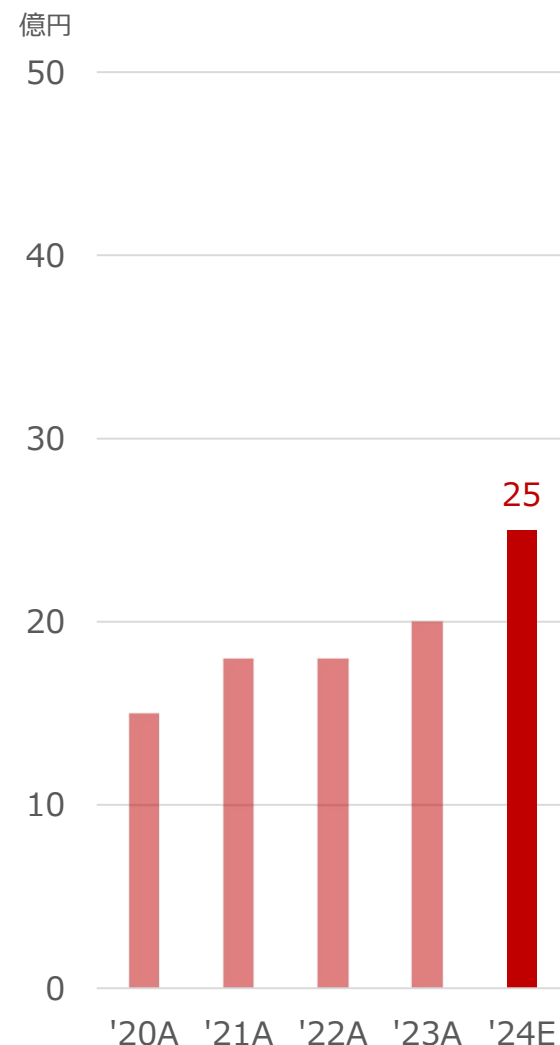
# 設備投資・研究開発費・配当金



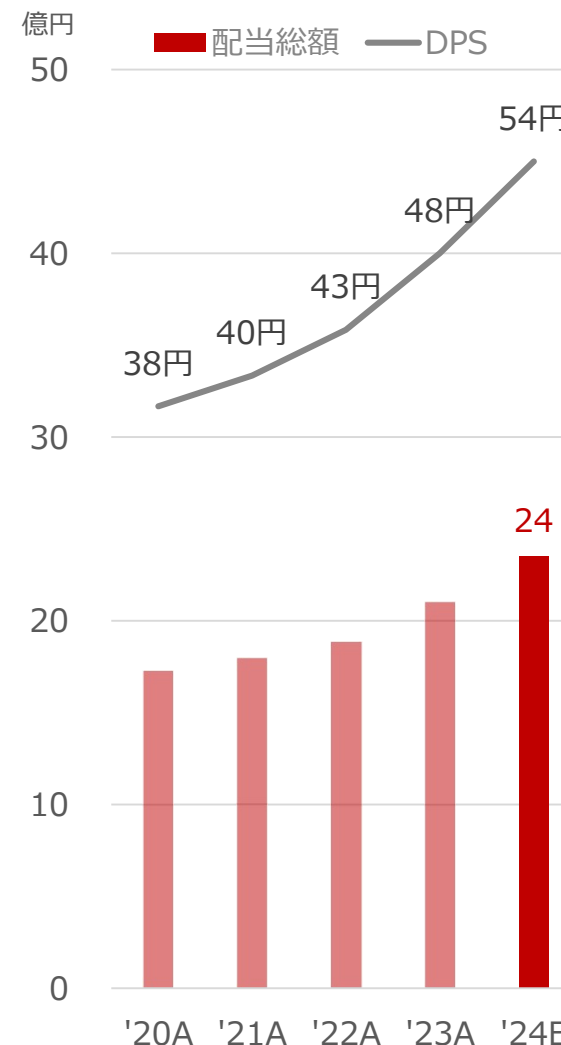
## 設備投資



## 研究開発費



## 配当総額/DPS



# Appendix

---



# 業績推移 (第3四半期)



(億円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
<b>売上高</b>	<b>365</b>	<b>391</b>	<b>419</b>	<b>434</b>	<b>435</b>	<b>424</b>	<b>528</b>	<b>503</b>	<b>542</b>	<b>518</b>	<b>505</b>	<b>475</b>	<b>438</b>	<b>547</b>	<b>655</b>
消防車輛	175	174	180	202	211	185	304	286	295	290	295	249	204	278	359
防災	92	116	118	114	121	129	122	120	143	118	112	123	129	154	170
産業機械	21	25	39	33	34	39	29	24	31	36	26	34	40	44	42
環境車輛	56	54	64	68	68	71	73	72	73	75	73	69	65	72	83
自転車	20	22	18	17											
<b>営業利益</b>	<b>15</b>	<b>24</b>	<b>32</b>	<b>33</b>	<b>42</b>	<b>45</b>	<b>52</b>	<b>37</b>	<b>39</b>	<b>37</b>	<b>39</b>	<b>26</b>	<b>9</b>	<b>33</b>	<b>66</b>
消防車輛	17	14	17	22	29	25	37	28	24	25	32	14	-6	8	27
防災	2	9	10	7	9	10	7	5	9	4	0	3	8	16	29
産業機械	-2	-0	1	0	0	2	0	0	2	3	2	4	5	5	5
環境車輛	0	1	4	6	4	9	8	3	4	5	5	5	3	3	6
自転車	-2	1	-0	-1											
<b>経常利益</b>	<b>16</b>	<b>25</b>	<b>32</b>	<b>34</b>	<b>44</b>	<b>50</b>	<b>55</b>	<b>42</b>	<b>43</b>	<b>41</b>	<b>43</b>	<b>30</b>	<b>13</b>	<b>35</b>	<b>69</b>
<b>当期純利益</b>	<b>9</b>	<b>11</b>	<b>10</b>	<b>20</b>	<b>26</b>	<b>27</b>	<b>36</b>	<b>26</b>	<b>25</b>	<b>36</b>	<b>27</b>	<b>19</b>	<b>6</b>	<b>17</b>	<b>43</b>

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
<b>受注高</b>	<b>354</b>	<b>416</b>	<b>426</b>	<b>478</b>	<b>509</b>	<b>481</b>	<b>601</b>	<b>604</b>	<b>670</b>	<b>622</b>	<b>613</b>	<b>622</b>	<b>689</b>	<b>687</b>	<b>892</b>
消防車輛	239	263	289	312	336	286	429	420	462	441	440	423	479	472	617
防災	31	43	36	40	51	74	52	82	83	66	59	64	77	75	112
産業機械	22	45	32	45	42	45	37	30	37	37	36	50	46	50	56
環境車輛	62	66	70	81	80	75	83	73	89	79	78	85	86	90	106
<b>受注残高</b>	<b>204</b>	<b>233</b>	<b>234</b>	<b>244</b>	<b>257</b>	<b>241</b>	<b>361</b>	<b>401</b>	<b>445</b>	<b>415</b>	<b>410</b>	<b>480</b>	<b>643</b>	<b>734</b>	<b>925</b>
消防車輛	155	153	171	161	173	140	265	268	302	276	272	317	430	511	645
防災	13	14	10	13	19	38	28	65	57	57	54	60	80	72	105
産業機械	20	43	31	42	32	30	24	25	31	30	31	44	52	55	60
環境車輛	17	24	23	28	32	34	44	44	55	52	53	59	81	96	114

# 業績推移（通期）



(億円)

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
<b>売上高</b>	<b>617</b>	<b>597</b>	<b>637</b>	<b>671</b>	<b>717</b>	<b>719</b>	<b>686</b>	<b>851</b>	<b>855</b>	<b>915</b>	<b>869</b>	<b>847</b>	<b>836</b>	<b>813</b>	<b>952</b>
消防車輛	319	316	314	335	359	383	328	520	498	546	510	518	491	449	544
防災	143	135	163	165	174	184	199	182	213	216	198	180	194	208	238
産業機械	34	33	43	54	60	55	60	44	41	47	54	40	52	59	62
環境車輛	84	80	83	90	97	97	99	105	103	106	108	109	99	98	109
自転車	37	33	33	28	26										
<b>営業利益</b>	<b>42</b>	<b>43</b>	<b>51</b>	<b>63</b>	<b>67</b>	<b>82</b>	<b>75</b>	<b>96</b>	<b>85</b>	<b>95</b>	<b>89</b>	<b>89</b>	<b>81</b>	<b>51</b>	<b>95</b>
消防車輛	39	37	33	39	44	57	42	72	55	63	57	66	55	18	47
防災	3	6	12	15	14	15	18	12	21	21	17	10	13	20	33
産業機械	-2	-2	1	2	3	2	4	0	2	4	5	3	6	7	7
環境車輛	3	2	3	6	7	8	11	12	6	8	9	9	7	6	7
自転車	-1	-1	2	0	-1										
<b>経常利益</b>	<b>45</b>	<b>46</b>	<b>53</b>	<b>64</b>	<b>70</b>	<b>84</b>	<b>81</b>	<b>101</b>	<b>90</b>	<b>101</b>	<b>93</b>	<b>95</b>	<b>88</b>	<b>59</b>	<b>96</b>
<b>当期純利益</b>	<b>20</b>	<b>22</b>	<b>28</b>	<b>29</b>	<b>35</b>	<b>47</b>	<b>45</b>	<b>60</b>	<b>57</b>	<b>64</b>	<b>70</b>	<b>62</b>	<b>54</b>	<b>40</b>	<b>60</b>

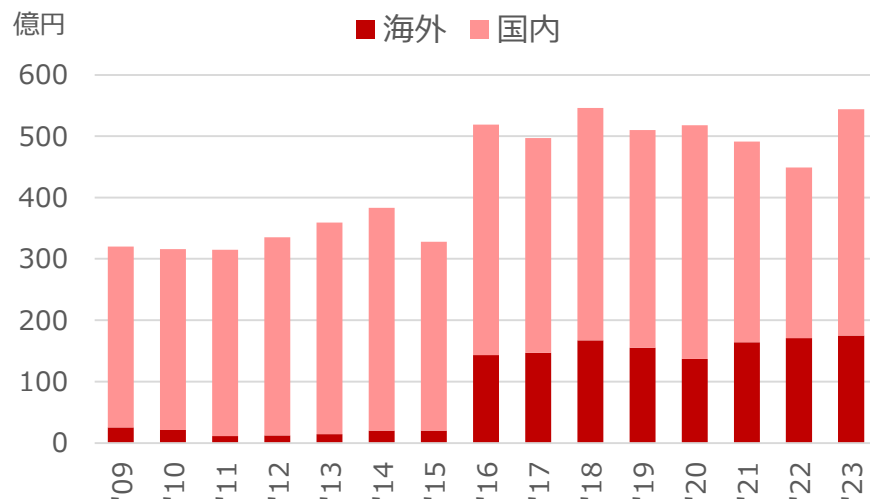
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
<b>受注高</b>	<b>498</b>	<b>421</b>	<b>495</b>	<b>493</b>	<b>554</b>	<b>576</b>	<b>546</b>	<b>716</b>	<b>718</b>	<b>783</b>	<b>738</b>	<b>737</b>	<b>755</b>	<b>849</b>	<b>874</b>
消防車輛	349	262	296	306	344	351	303	489	471	517	494	506	481	575	577
防災	38	41	54	50	55	65	88	67	101	100	91	79	89	97	116
産業機械	27	37	58	45	56	54	52	47	46	52	45	47	69	62	59
環境車輛	85	81	87	93	99	106	103	114	100	114	108	105	115	115	122
<b>受注残高</b>	<b>121</b>	<b>88</b>	<b>115</b>	<b>94</b>	<b>97</b>	<b>87</b>	<b>194</b>	<b>198</b>	<b>221</b>	<b>228</b>	<b>221</b>	<b>237</b>	<b>295</b>	<b>477</b>	<b>570</b>
消防車輛	81	43	50	37	43	23	125	117	118	116	116	124	140	291	359
防災	10	11	10	9	9	11	20	19	39	36	37	42	49	60	74
産業機械	19	23	38	29	25	24	16	20	24	29	21	28	45	48	46
環境車輛	11	11	16	19	20	29	33	42	39	47	48	44	60	78	91



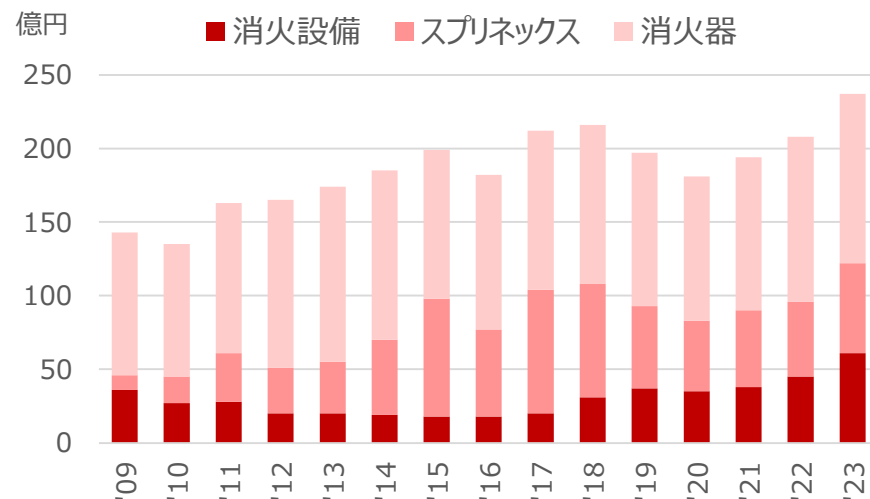
# セグメント別 売上構成



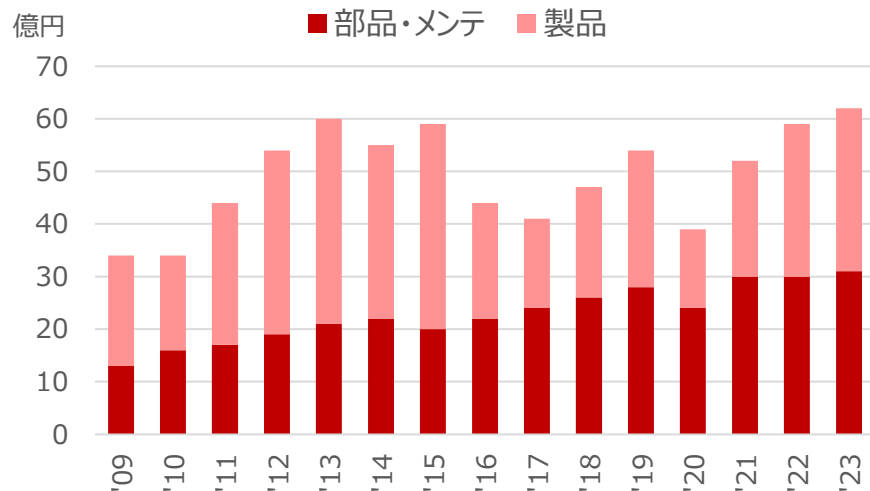
## 消防車両



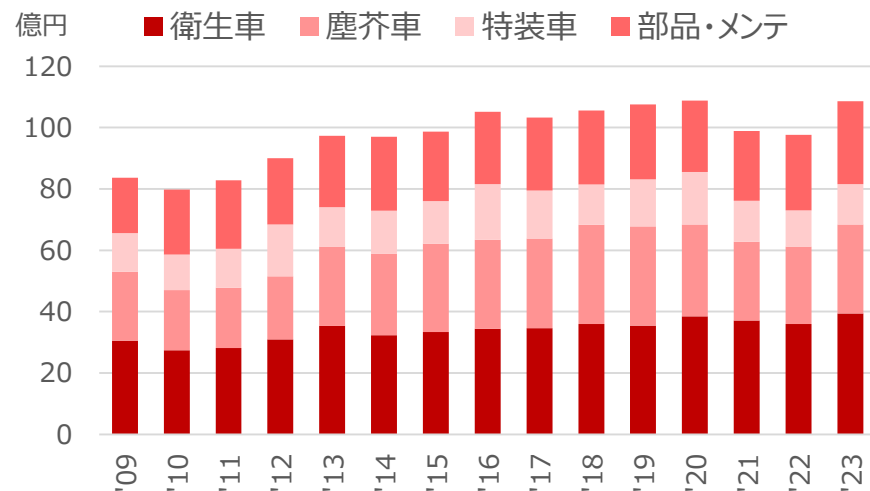
## 防災



## 産業機械



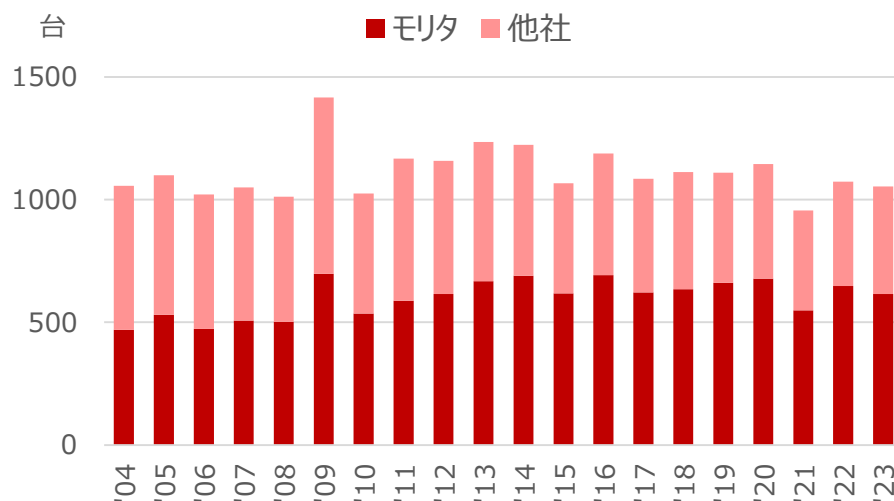
## 環境車両



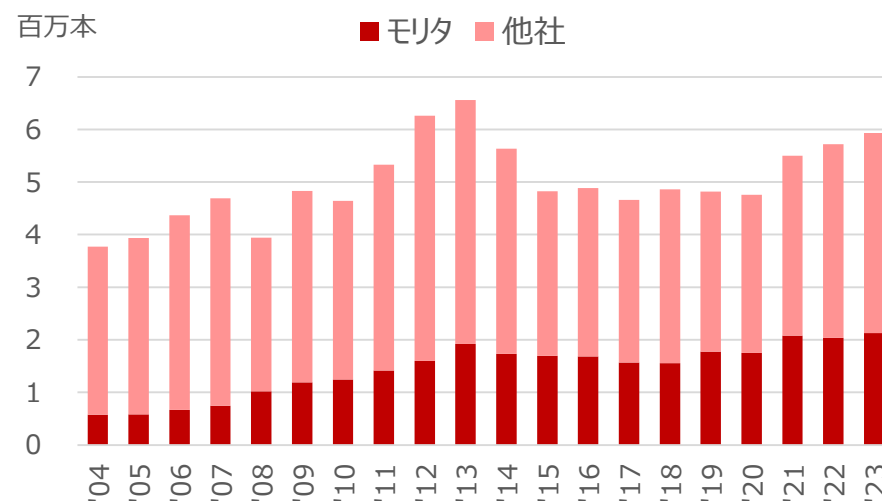
# 需要数量



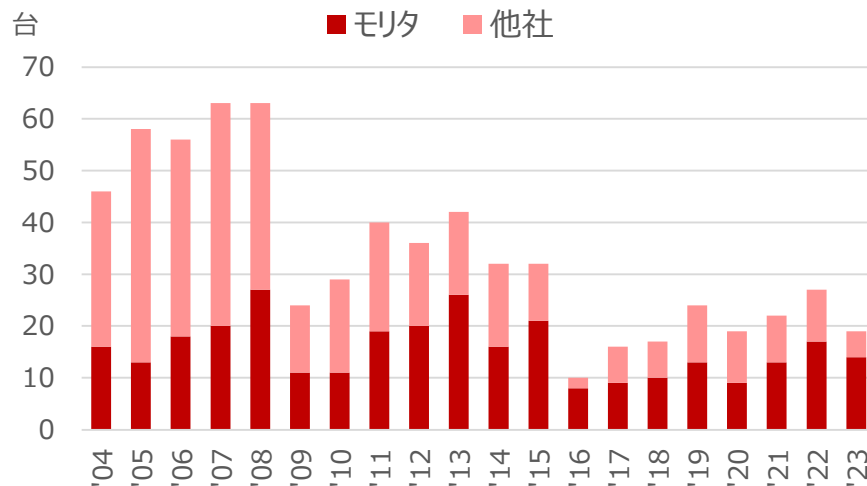
## 消防車



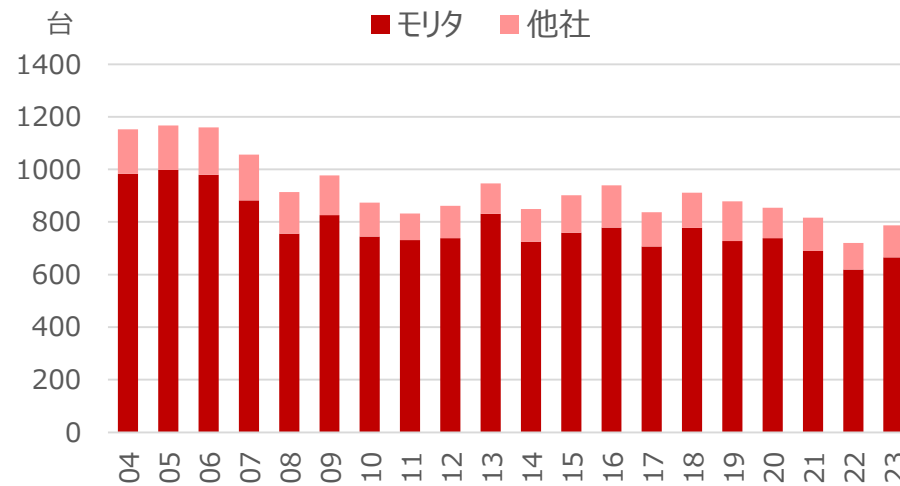
## 消火器



## 切断機



## 衛生車



※ 自社調べ

# Bronto Skylift 概要



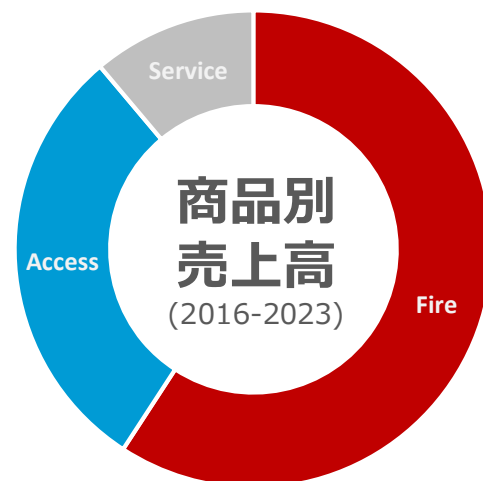
Fire & Rescue



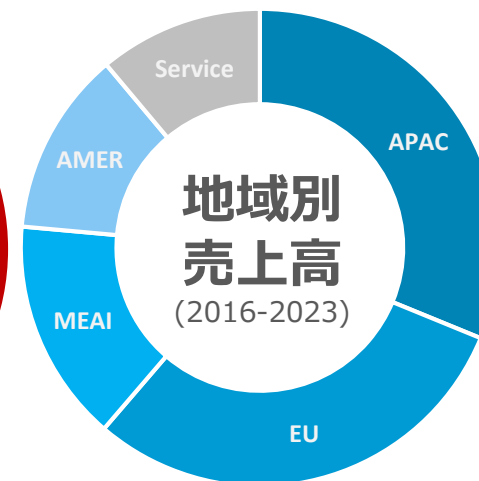
- 社 名 Bronto Skylift Oy Ab
- 所 在 地 Teerivuorenkatu 28, FI-33300 Tampere, Finland
- 設 立 1972年
- 従 業 員 数 407名 (2023年12月31日現在)
- 子 会 社 Bronto Skylift Aktiebolag (スウェーデン)  
Bronto Skylift AG (スイス)  
Bronto Skylift Deutschland GmbH (ドイツ)  
Bronto Skylift, Inc. (アメリカ)
- 事 業 内 容 屈折はしご付消防車および高所作業車の開発・製造・販売



Access



Fire 屈折はしご付消防車  
Access 高所作業車  
Service サービス



APAC アジア太平洋  
EU 欧州  
MEAI 中東・アフリカ・インド  
AMER 米州  
Service サービス





## Disclaimer

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測、主要市場の経済環境及び製品需給の変動等に関する記述は、入手された情報に基づき判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

なお、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。